

(仮称) 業平橋押上地区開発計画 (新タワー計画) H21年2月～H21年4月 工事工程のお知らせ

昨年11月末より逆打(カチ)工法で進めている低層棟は、北側半分まで1階床を造り終わり、1月末より北側から地上4階までの鉄骨工事を開始いたしました。また、1階床下では2月下旬より掘削工事を行います。

タワー塔体の掘削工事も平行して行っていますが、狭い地下での掘削であり安全確保のため通常時間外での作業が発生しております。(騒音・振動等については殆どありません。)

2月初旬よりタワー塔体の基礎部鉄骨工事を開始し、順次組み上げていきます。また、タワー中心部(内塔)では、2月下旬よりタワークレーンの組立を行い、4月頃からは、いよいよタワー塔体鉄骨工事に着手します。

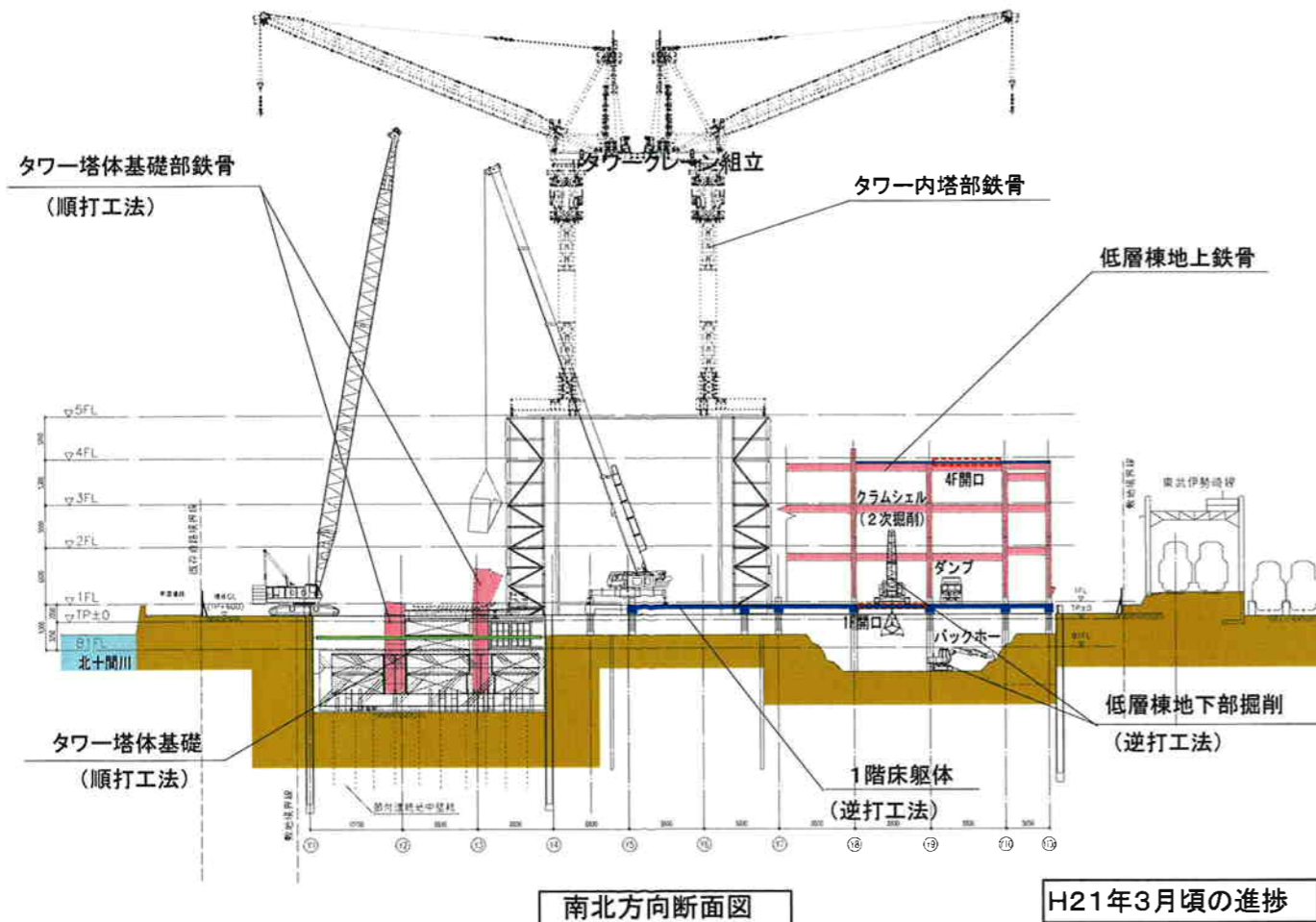
なお、タワー塔体の鉄骨工事では、鉄骨やタワークレーンの部材などが大きいため、搬入については一般道の通行が21時からとなっています。したがって現場への到着はそれ以降となってしまいますが、作業につきましては工事現場での夜間騒音の発生を抑制するため、車両をそのまま場内に待機させ、荷降ろしは翌朝7時からとさせていただきます。

今まで同様、騒音・振動を極力発生させないよう作業を行なってまいりますので、何卒ご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。

2月～4月工事工程

	H21年2月	3月	4月	施工者
<本工事> ① 低層棟工事	(逆打工法) 2次掘削⇒杭頭処理⇒基礎躯体工事			(株)大林組
	(逆打工法) 1階床工事			
	地上鉄骨工事(タワー内塔部鉄骨共)及び床躯体工事			
② タワー塔体工事	掘削及び杭頭処理工事			
	(順打工法) 基礎部分鉄骨及び躯体工事			
	塔体地上鉄骨用タワークレーン組立工事	地上鉄骨工事		
平均車両台数(台/日)	約300台	約300台	約300台	

タワー塔体・低層棟躯体工事



1月末現在の工事の様子



全景

南側から東側の掘削及び低層棟先行床状況

(仮称) 業平橋押上地区開発計画 (新タワー計画)

《ご相談窓口》

(本計画に関する全てのご相談窓口)

電話：03-5610-0605

月～土 8時～20時

《工事関連対応窓口》

(工事に関するご相談窓口)

電話：03-3829-6310

月～土及び祭日 8時～20時

(緊急の場合は、上記以外も連絡可能)

「住宅・建築物省CO2推進モデル事業」の採択について

業平橋・押上開発プロジェクトでは、地域のまちづくり方針「地球にやさしい水とみどりのまち」を受けて、環境に配慮した事業の実現を図っております。

今般、本プロジェクトが国土交通省から、省CO2の実現性に優れたリーディングプロジェクトであると評価され、「住宅・建築物省CO2推進モデル事業」としての採択を受けました。引き続き計画の精査を行い、環境にやさしい事業の実現に努めてまいりたいと考えております。

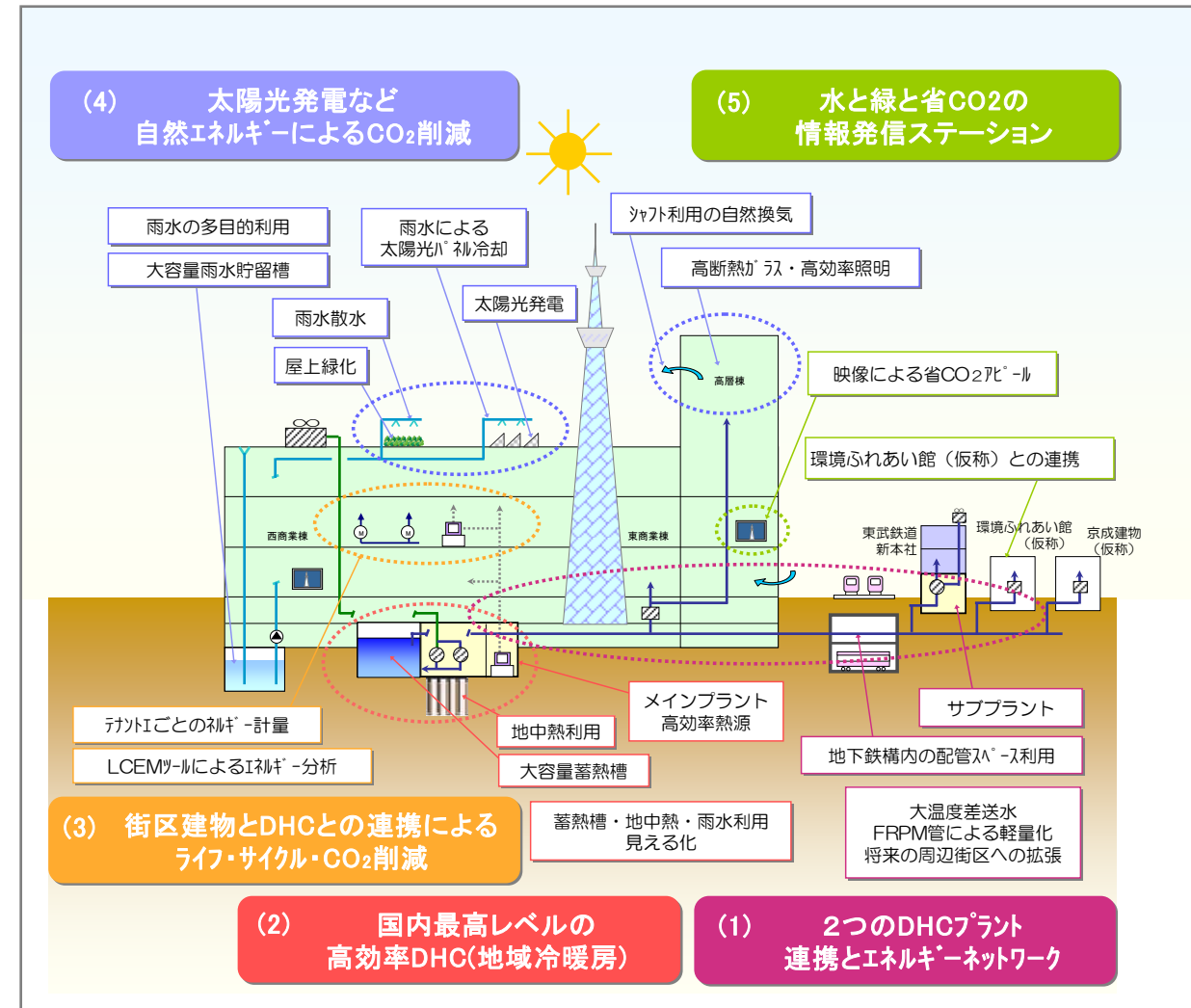
【国土交通省 平成20年度第2回「住宅・建築物省CO2推進モデル事業」】

- | | |
|--------|---|
| 1 名称 | 東京スカイツリー周辺（業平橋押上地区）開発 省CO2推進事業 |
| 2 提案者 | 東武鉄道株式会社、株式会社東武エネルギーマネジメント |
| 3 事業概要 | 建物名称 「東京スカイツリー西街区・東街区」
用途 事務所、物販・飲食店等
竣工 平成23年度（事業期間は20～26年度） |

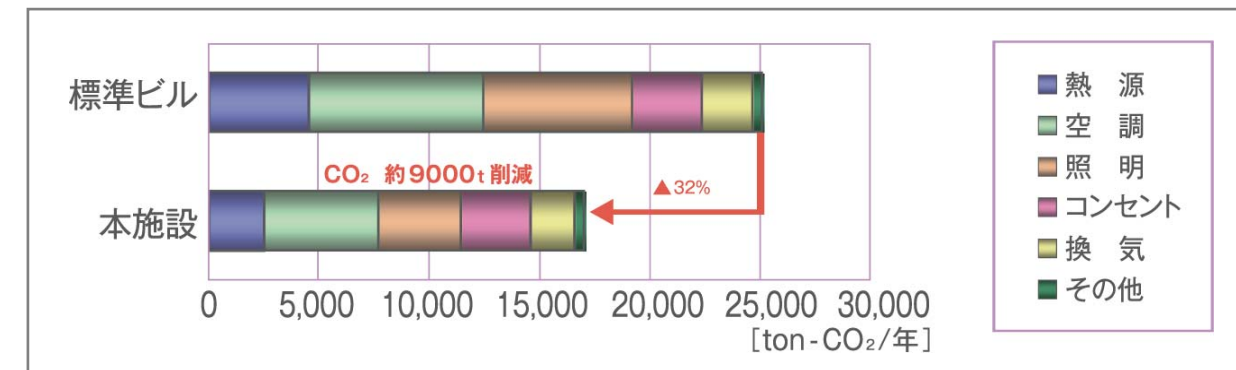
4 事業提案の概要（評価項目）

- (1) 2つの地域冷暖房システム（DHC）プラントを連結し、広域エネルギーネットワークを構築することで効率的な熱供給を実現
- (2) 地中熱利用や大容量蓄熱槽により国内最高レベルの高効率なDHCを実現
- (3) 建物とDHCが連携した「ライフサイクルエネルギーマネジメント」の実施により省CO2を実現
- (4) 太陽光発電など自然エネルギーの活用によるCO2削減
- (5) 本事業を「水と緑と省CO2の情報発信ステーション」として位置付け、省CO2技術や削減実績を展示し、環境対策への関心を高める。

■環境への取り組み（イメージ図）



■CO2排出量（予測）



※LCEM(エルセム)ツールとは、国土交通省が開発した空調エネルギーシミュレーションシステムです。